

わんにゃん通信 2022.3月号

暦の上では春といえどまだ寒い日が続いています…

防寒具を手放せるのはいつになることやらです。

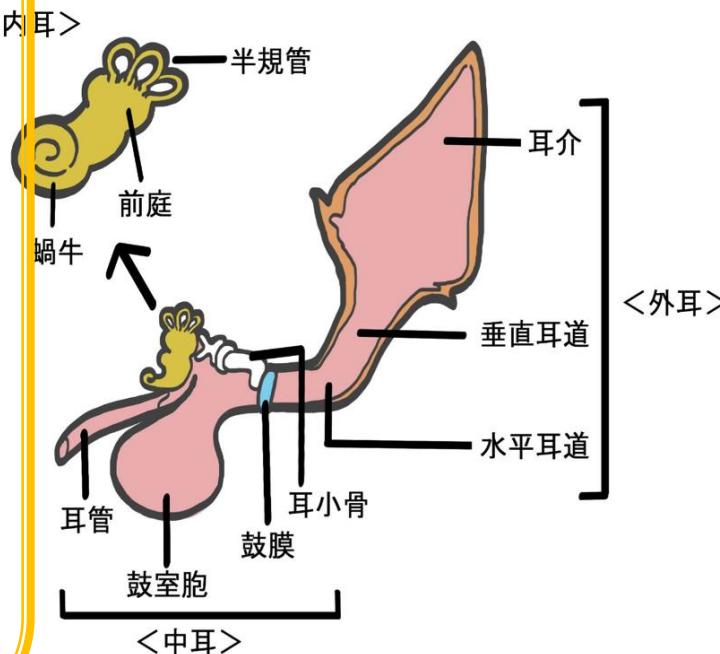
今回は外耳炎のお話です。

外耳炎

犬は人より鼓膜から外につながる外耳の部分

(外耳道) が長くなっているため、風通しが

悪く、湿度がこもりやすくなったり、暑さが逃げにくくなったり、外耳道にトラブルを起こしやすくなります。そのトラブルの多くが外耳炎です。耳の穴の入り口から鼓膜まで及ぶこともあります。放っておく鼓膜の奥にある中耳、さらには内耳に炎症が広がるのも珍しくありません。



原因

原因として耳ダニ症、アレルギー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、植物などの耳の中の異物、腫瘍やポリープのようなできものなどがあります。また単独では原因にはなりませんが組み合わさることで外耳炎を引き起こすこと原因となるのが、細菌やマラセチアのような微生物の増殖、たれ耳・短頭種にみられる狭い外耳道、耳道に毛が密集している犬種、高温多湿な環境などです。

耳ダニ



アレルギー性皮膚炎



たれ耳・短頭種・耳に毛が密集



症状

- 頭を振る
- 頭のあたり、耳の周囲を搔く
- 耳の臭いがきつくなる
- 耳がいつもより汚れている
- 耳から汁が出る
- 頭または耳を家具や床にこすりつける
- 耳のまわりを触られるのを嫌がる



痛みのために触られるのを嫌がり、攻撃的になることも…



慢性化するとこまめな治療が必要になってくるよ

治療・予防

耳道内の掃除、耳垢が多い場合は生理食塩水などで洗浄をし、原因に合わせて外用薬を使用します。また、中耳炎まで及んでいた場合は内服薬を投与しての治療になります。



耳掃除は奥までせずに見える範囲までで！

耳掃除のし過ぎは必要な油分までふき取ってしまうので逆効果！



佐々木先生のコラム

外耳炎は日々の診療でひじょ~~~~~によく遭遇する疾患です。先に述べられているように原因はいろいろあります。私の主観になりますが、遭遇頻度の高い外耳炎ランキングを発表します。

犬

- 1位 アレルギー
- 2位 耳ダニ
- 3位 肿瘍

猫

- 1位 耳ダニ
- 2位 外傷・アレルギー
- 3位 肿瘍

猫は犬と比較して外耳炎が少ないです。猫で耳ダニがダントツなのは唐津という地域性（ノラ猫が多い）があってのものでしょう。私の友達の動物病院では、植物（ノギ）による異物が多いみたいです。地域差があるのってややこしいけど面白いですね。